

各区で検討中の『地域別構想(素案)』

		安塚区	浦川原区	大島区	牧区	柿崎区	大淵区	頸城区	吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区		
現状と課題	時代潮流	社会環境	・過疎化、高齢化、少子化が平均より先行している ・町内会、自治会、消防団の存続	・過疎化、高齢化、少子化が平均より先行している ・町内会(青年会、婦人会)の存続 ・若者が少なく、地域起こしがし難い ・住民組織を運営する人が少ない	・高齢者世帯の増加が著しい ・集落崩壊(限界集落、準限界集落が大半を占めている) ・地区振興協議会の活力が弱まっている	・若者の流出による児童数の減少 ・急激な高齢化の進行 ・集落機能の維持が困難 ・地域の防犯力が弱ってきた	・少子化、高齢化 ・若者の流出 ・小学校や保育園の1施設当たりの児童数、園児数が少なくなっている ・地域活力の低下		・少子化、高齢化の進展 ・若年層の流出 ・核家族化	・限界集落の発生		・高齢化(65歳以上が30%近くになっている) ・核家族化の進行 ・地域の連帯感が希薄	・中山間地集落の維持	・少子化、高齢化	・若者を中心とした人口の流出 ・少子化、高齢化 ・過疎化の進行	
		経済環境														
		自然環境						・海岸侵食が著しい	・海岸侵食が著しい							
		行政をとりまく環境														
	分野別	健康・社会福祉														
		教育・文化		・文化に対する住民の意識が高まらない												
		産業経済	・農業の後継者不足	・農業の担い手不足 ・耕作放棄地の増加 ・農業従事者の高齢化 ・建設業が厳しい状況 ・地元商業(個人店等)の衰退	・機械化や兼業農家等の変化により、自然と共存する中山間地農業の技術の継承が困難 ・交流人口を受け入れる住民の意識がまだ高いとはいえない ・地域雇用の場が少ない	・遊休農地が増加 ・稲作の収入が少ない	・農道、用水路といった農業基盤施設の維持管理が困難 ・農業後継者不足 ・農業収入が低い ・雇用の場が少ない	・商店の閉店により、地域の賑わいが薄れている	・農業の担い手不足 ・中山間地の農地荒廃 ・地域雇用の場が少ない	・基幹産業である農業の支援 ・特産物の開発 ・訪れる人が少ない	・農業者の高齢化による耕作放棄地の増加が懸念	・稲作中心の農業収入が低い	・総農家数に対する兼業農家数が極めて高く小規模な自給的農家が多い ・森林の多くが人工林のほとんどが民有林であるが、保育や間伐が行われていないため荒廃している ・農林水産業の経営体が小規模であり、従事者の高齢化に伴う担い手不足が深刻になっている			
		生活環境	・豪雪地である(積雪が平地で1~2m、山間部で4~5mになる場所もある)			・玄関先や屋根雪除雪(高齢者住宅)	・海岸侵食が著しい	・海岸侵食が著しい		・不法投棄がある	・冬季間の生活道路の利便性が悪い			・産業廃棄物問題の早期解決		
		都市整備			・公共交通の利便性が悪い ・地上デジタル放送の難視聴地域 ・ブロードバンドの環境が悪い	・道路除雪 ・集落が点在していることから、高齢者や学生などの交通手段の確保 ・防災無線の更新 ・携帯電話の複数事業者の参入	・生活(通勤・通学)バス路線の維持 ・山間部は地上デジタル放送の難視聴地域であり、ブロードバンド環境でもない ・公共施設(保育園、小中学校、公民館)が老朽化している		・通信網の確立による災害対策 ・吉川高校跡地の利用 ・工業団地の撤退企業跡地利用	・克雪(除雪)	・冬季間の生活道路の利便性が悪い	・未改良区間の道路の通勤通学の安全確保 ・公共交通機関(バス)の衰退 ・携帯電話の不 통화地域がある ・地上デジタル放送が見られない地域がある ・処分場跡地の利活用		・冬季間の生活道路の安全性、利便性が悪い ・公共交通機関の利便性が悪く、交通弱者にとって日常生活に支障がある ・情報通信環境が弱い		
		地域力(コミュニティ)	・若者お年寄りがとても元気で生き生きとした地域	・共に支えあう地域(健康で仲良く安心して暮らせる地域)		・地域の地形、人口動態から、集落移転、再編が進んでいる地域	・生活の中に自然を取り戻し、潤いと安らぎのあるまち	・誰もが心身ともに健康で安心して暮らせるまち		・子供から高齢者まで、誰もが元気に活動し、笑い声が響きわたるまち					・地域住民と行政の緊密な協力体制を構築し、住民1人ひとりの主体的な参画による生き生きとしたまち	・地域を支える人づくり、いきいきと暮らせる地域
地域の将来像	生活環境	・克雪、利雪がとても身近な地域	・快適に暮らせる地域(自然豊かで安らぎのある快適生活地域)	・自然生態が大切に守られ、人々の暮らしと自然が調和した心地良い環境のなかで、ふれあいと思いやりのある開かれた地域社会が形成された山里には、地域に愛着を持って暮らす人々が自然と折り合い、楽しみながら四季に住み、農業・農村を新しい価値観で見直し、豊かな暮らしのある、温かな地域をつくっている	・健康で安らぎのある地域 ・情報の共有化が図られる地域	・快適な住環境を有し、潤いとぬくもりに満ちた田園都市地域				・雪を克服し、四季を通じて安全・安心で楽しく暮らせるまち		・誰もが安心・安全な生活が営める定住環境づくり	・子供から高齢者まで誰もが安全・安心に暮らし、働くことのできるまち	・快適で住みやすい、生活環境の整った地域		
	交流	・日本の都市部やアジア諸国との交流が盛んな地域	・交流が盛んな地域(人・物・情報が行き交う活気ある地域)			・賑わいと活気に満ちた北の玄関口		・(観光等の交流事業により)新しい活力を創造するまち	・都市住民との交流や地域資源を活用した新たな地域産業が芽生えるまち ・確かな情報を発信し、交流の輪を広げ、若者が集う活気あるまち	・雄大な自然環境の中で観光・レジャーを始め、人々が集い交流するまち	・幅広い交流や人々とのふれあいを通じ、心豊かに暮らせるまち ・若者が住みたくなる、活力とにぎわいのあるまち	・神秘的な坊ヶ池と縄文時代の歴史ロマンが息づくまち	・豊かな資源、人が息づく賑わいと活気ある地域			
	地域への愛着、誇り	・地域の伝統文化を大切にしている地域	・文化を育む地域(心豊かな人が多く生き生きとした地域)					・豊かな自然と住民生活が調和したまち	・環境に調和した暮らしを積極的に進め、豊かな自然を大切にしているまち		・地域の特性を活かした産業で、地域に誇りと自信を持って暮らすまち	・心豊かで1人ひとりが魅力と愛着を感じる元気な地域				
	産業(農業等)の振興	・棚田を守り、有機農業に積極的に取り組む地域			・自然と調和した安全、安心の産業が成り立つ地域	・産業基盤の整った活気あるまち	・農業と商工業がバランスよく発展するまち	・健全な農産物の生産を推進し、食料基地として発展するまち	・豊かな水に恵まれた中郷ブランド米の供給地		・豊かな自然・水が育てる良質米の生産地域	・自然の豊かさ人と人とのふれあいを大切にした良質米の生産を中心とした農業のまち				

各区で検討中の『地域別構想(素案)』

		安塚区	浦川原区	大島区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区	吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区	
地域づくりの方向	社会環境				・住民一人ひとりが支えあっていく仕組みが上手く機能している ・集落自治が成り立たない集落については、隣接集落との再編成や区中心部での団地造成により、集団移転を推し進めることにより、集落の再編に取り組む	・中山間地では、過疎化・高齢化が著しく、今後、コミュニティ活動や集落営農に支障が出るのが予想されるため、新たな相互支援体制づくりを進めていく	・住民活動や文化活動の中で培われた住民相互の交流活動をさらに活発なものにするために、住民のまちづくりへの積極的な参画を促進する	・防災組織や防犯組織の育成を支援するなど、子供から高齢者まで安心・安全な生活を地域全体で支えあう仕組みづくりを行う	・あらゆる災害に対応した防災体制づくりや、疾病・火災に備えた消防・救急体制の充実にも努め、安心して暮らせるまちづくりを目指す						
	経済環境					・利便性の高い交通アクセス、多様で調和のとれた自然景観、歴史遺産、豊富な食材など、当区が有する魅力・資源を大切に、それらを活かした体験交流や企業誘致を推進していく	・雇用機会の拡大を図る	・農業においては、担い手の育成支援や消費者志向に合わせた作物の生産を行う ・畜産とも連携した環境保全型農業を推進する							
	自然環境							・住民の誇りである田園風景や大池にのびのびの森など、水辺や里山の豊かな自然環境との調和を図った地域づくりを進める						・豊かな自然環境を地域の財産とするため、環境保全対策に万全を期する	
	行政をとりまく環境														
	健康・社会福祉	・公営住宅、高齢者支援ネットワークの整備				・生まれ育った地域で安心して暮らせるよう保健、医療・福祉の施策が行き届いている			・NPO等と連携し、住民の健康づくり活動を推進する					・福祉、保健、医療が充実した地域づくり	
	教育・文化	・学校、生涯学習センター、B & G海洋センターの施設整備 ・身近な施設を利用した生涯教育活動の推進	・公民館事業の推進やコミュニティプラザの市民ホール等の活用を通して、生涯学習を推進しながら住民の文化活動を活発にする	・農村で自然と共存する技術を含む広い意味での文化を継承する仕組みの整備											・学校教育と生涯学習の充実を図るための施設を整備して、次代を担う若い世代から、高齢者までが能力と経験と知恵を活かし、生涯を通して安心でいきいきと暮らし学ぶことのできる地域を目指す
	産業経済	・棚田の保全と地産地消の推進	・地域農業の担い手を確保 ・農業の振興 ・田舎体験事業や東京、柴又の交流などの都市交流を推進する	・これまで継続してきた都市・農村交流活動を地域ビジネスにつなげる活動へと展開 ・環境意識の高まりを活用した地域の雇用拡大	・水稲、園芸野菜、蕎麦など、地域気候、土壌に適した農産物の生産地帯になるよう、経営基盤が成り立つ農地の集約化及び経営が成り立つ生産組織が創設する	・認定農業者や生産組織の強化育成に努め、複合営農の推進、生産コストの低減等を図るとともに、食の安全や環境に配慮した農業経営を推進する	・農業の活性化を図る	・県南部産業団地や花ヶ崎工業団地への起業誘致を推進し、工業拠点の形成を目指す ・商業施設の立地誘導や、既存の商店街の活性化を図る ・頸城鉄道の車両や、瀧本駅、坂口記念館、樹齢400年のしだれ桜などの地域資源の連携を図ることによって全体の価値を高め、交流事業の発展を目指し、賑わいと活力を出していく	・整備された圃場と豊かな水に育まれ、安心して食される中郷米のPRに努め、稲作を中心とした農業振興を図る ・有機栽培による体験農場を通じた交流人口の拡大を図る	・産業としての農業が成り立つため、生産組織の強化と付加価値を高めるとともに、消費者ニーズに応えた地域の特産品の開発や販売に努める ・働く場の確保のため、工業団地への企業誘致を進め、雇用の創出を図る	・圃場整備がほぼ整った中、農業の担い手の育成を強化する ・地元産良質米の提供に努める	・県営圃場整備事業を進め、農業経営基盤の強化を図り、農産物の生産基地としての地位を高める			
	生活環境		・4地区のコミュニティ組織の強化 ・冬季間の交通確保 ・商業振興や住宅等の集積を図るなど、上越東部地域での拠点性を高める	・これまでの集落や旧小学校区単位に構成されている地区(振興)協議会の取組の成果を活かしつつ、地域における住民活動を活発化する仕組みづくり	・住民一人ひとりが支えあっていく仕組みが上手く機能している ・ケーブルテレビ等の活用による災害緊急時の情報伝達システムの構築		・温泉、海岸、湖沼などを交流拠点として整備し、区全体を公園化して「ゆとり」と「やすらぎ」を提供	・住民の誇りである田園風景や大池にのびのびの森など、水辺や里山の豊かな自然環境との調和を図った地域づくりを進める	・四季折々の美しい風景を形成する自然環境を保全するとともに、循環型社会を目指した環境に配慮したまちづくりを進める ・中山間地域の棚田を代表とした農村景観を大切にするとともに、子供の遊び場やコミュニティを醸成する公園などの憩いの空間づくりを進める	・大雪対策を進め、四季を通して人々が安全に安心して暮らせる地域の整備に努める		・自然災害への備えや地域の自主防災組織、防犯活動に取り組む			
都市整備	・市道、林道、歩道の整備 ・道路除雪の充実(除雪機械の更新) ・移動通信鉄塔整備の推進	・下水道整備や情報基盤整備 ・冬季間の交通確保	・公共交通を再び住民が利用しやすいような仕組みづくり		・海岸部から市街地近郊にかけては、当市の中でも積雪量の少ない地域であり、交通の利便性も高いことから、優良住宅供給地として整備を図っていく			・集落排水施設の適正管理・合併処理浄化槽の普及など、環境に配慮した住環境の充実を図る			・地域内道路の整備 ・区内の公共交通機関の維持				